

LEVEL
3



の野ばら

げんさく　おがわみめい
原作：小川未明





朗読音声のダウンロード
Audio download

よ　まえ ★読む前に Before you read

《多読の読み方》

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本語を身につけていく方法です。

次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む

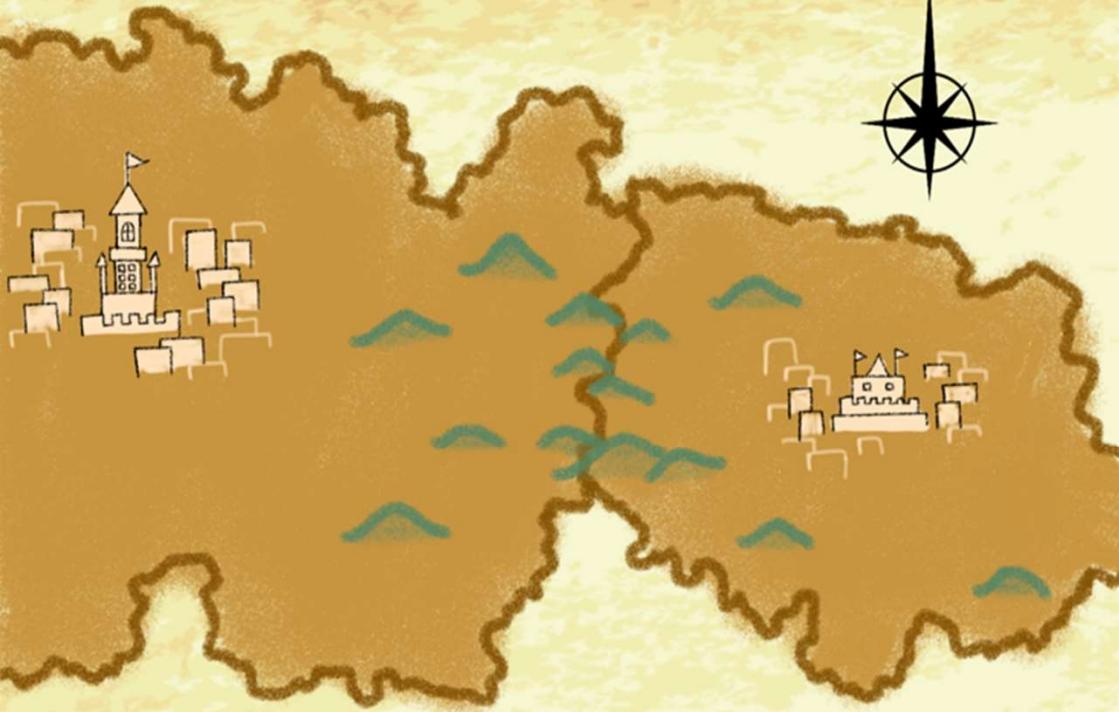


《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.

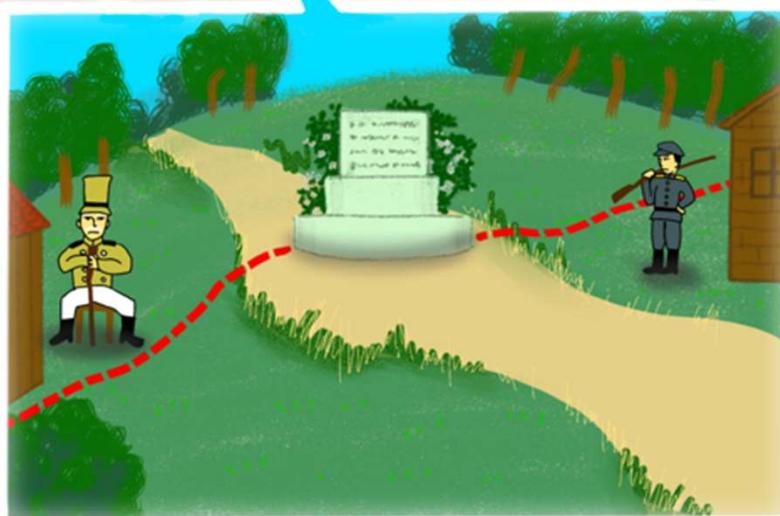




大きい国がありました。

その隣に、それより少し小さい国がありました。

2つの國の人たちは、楽しく静かに暮らしていました。
とても平和でした。



ここは町からとても遠い、田舎の山の中です。

道に石碑が立っていました。ここは「国境」です。

この国境を、2つの国から来た兵士が守っていました。

大きい国の兵士は老人で、小さい国の兵士は青年でした。

2人の兵士は鉄砲を持って、毎日、石碑の右と左に立っていました。

とても寂しいところで、ほとんどだれも通りません。



ふたり ぜんぜんはな
2人は、はじめは全然話しませんでした。

でも、だんだん話すようになりました。
はな

ほか はなし ひと
他に話をする人もいなくて、つまらなかつたからです。

はる ひ あたたか
そして、春の日が暖かく、やさしく頭の上で

ひか
光っていたからです。



せきひ
石碑のところに野ばらが
咲いていました。

の
野ばらの周りには、
あさはや じかん
朝早い時間から
みつばちと
ミツバチが飛んできて、
あつ
集まっていました。



まいあさ みつばち きも
毎朝、ミツバチたちの気持ちのよい
ぶんぶん はねおと
「ブンブン・・」という羽の音が、
ねふたりみみ
まだ寝ている2人の耳に
き聞こえてきます。

「どれ、もう起きようか。
みんなにミツバチが来ている」
ふたりおなじかんお
と、2人は同じ時間に起きました。



ふたり そと で あさ ひ き うえ
2人が外へ出ると、朝の日が木の上で

げん き あか ひか
元気よく明るく光っていました。

ふたり かお あら みず で
2人は顔を洗いに、きれいな水が出ている
ところへ行きました。

「やあ、おはよう。いい天気ですな」

ほんとう てん き てん き
「本当にいい天気ですね。天気がいいと、

き も
気持ちがいいですね」

ふたり はなし
2人はこんな話をしました。

かお あ そら もり み
そして顔を上げて、空や森を見ました。

まいにち み
毎日見ているのですが、

まいにちあたら き も
毎日新しい気持ちがしました。





ろうじん せいねん
老人は青年に、
ちえす おし
チェスを教えました。
せいねん
青年はそれまで、
ちえす あそ かた
チェスの遊び方を
し 知りませんでした。

おし
でも教えてもらってからは、天気のいい日には、
ふたり まいにち ちえす あそ
2人は毎日チェスをして遊ぶようになりました。

ろうじん つよ
はじめは老人のほうが強かったのですが、
せいねん じょうず
青年がどんどん上手になっていって
ろうじん まおお
老人が負けることも多くなってきました。

せいねん ろうじん
青年も老人も、
ほんとう
本当にやさしくて
ひと
いい人でした。

ふたり ちえす とき
2人はチェスの時は、
いつしょうけんめい か
一生懸命「勝ちたい！」
がんば
と頑張りますが、
たたか ちえす とき
戦うのはチェスの時
だけです。



「やあ、これは俺の負けかな。こんなに逃げてばかりいたら
くる苦しいなあ～。もしこれが本当の戦争だったら、大変だ！」
と老人は言って、大きな口を開けて笑いました。
青年は、「今日は勝てるかもしれない！」と、
チェスに一生懸命でした。



小鳥が木の上で面白そうに歌っていました。

白い野ばらの花からは、いい匂いがしていました。



この国境にも、やはり、冬はきました。

寒くなると、老人は

「早く、息子やその子供たちがいる南の方へ帰りたい」と言いました。

すると青年は言いました。

「あなたが帰ったら、その後知らない人が来るでしょう。

あなたと同じように親切で優しい人ならいいですが、

“私たちは国が違う。お前は敵だ”

と考える人だったら、私は困ります。

お願ひですから、もう少しの間ここにいてください。

もう少ししたら、春が来ます」



ふゆ お
冬が終わって、また春になりました。

ちょうどその頃、
この2つの国^{くに}の間に問題^{あいだ}が起きて、
2つの国^{くに}は戦争^{せんそう}を始めました。



それまで毎日楽しく暮らしていた2人が、敵になりました。
それは本当に、不思議なことでした。



ろうじん　い
老人は言いました。

まえ　くに　くに
「お前の国と私の国は

せんそう　はじ
戦争を始めた。

わたし　まえ　てき
私はお前の敵になったんだ。

わたし　ころ
さあ、だから私を殺せ。

わたし　くび　も　かえ
そして私の首を持って帰って、

じぶん　くに　ひと　み
自分の國の人に見せるといい。

みんなは喜ぶだろう」



これを聞くと、
せいねん
青年はびっくりして
い
言いました。

「何を言うんですか。

どうしてあなたが私の敵でしょう？」

そして、

わたし てき ぜつたい
「私の敵は、絶対にあなたではありません。

せんそう くに きた ほう
戦争をしているのは國の北の方です。

わたし い
私はそこへ行きます」



せいねん い
青年はそう言って、
きた ほう い
北の方へ行ってしまいました。



ろうじんひとり
老人は一人になりました。

せいねんひろうじんまいにち
青年がいなくなった日から、老人は毎日、

こころなになきも
心から何かが無くなったような気持ちでいました。

の野ばらのはなさあさばん
野ばらの花が咲いて、朝から晩まで、

まわりをたくさんみつばちと
その周りをたくさんミツバチが飛んでいます。

せんそうとお
戦争をしているのはここからとても遠いところです。

みみとおそらみてっぽうおん
いくら耳をすましても、遠くの空を見ても、鉄砲の音は
ぜんぜんきすこけむりみ
全然聞こえないし、少しの煙も見えませんでした。

せいねんろうじん
青年がいなってから、老人はずっと

せいねんかんが
青年のことを考えていました。

せいねんだいじょうぶ
「あの青年は大丈夫だろうか・・」

ろうじんいちにちいちにちす
老人の一日一日はこうして過ぎていきました。



ある日、旅人がここを通りました。

老人は「戦争はどうなった？」とその人に聞きました。

「戦争は終わったよ。小さい国が負けて、

北にいたその国の兵士たちはみんな殺された」

と、旅人は答えました。





ろうじん
老人は

「それならあの青年も
死んだのだろうか・・」
おも
と思いました。

せき ひ すわ
石碑に座って、

ろうじん なが じ かん
老人は長い時間そんなことを考
えていました。

しばらくすると眠くなつて、
そのままそこで
ね
寝てしまつました。



とお
遠くから、

たくさんの人ひとが来る音くおとがしました。

老人ろうじんが頭あたまを上げて見ると、

小さい國くにの兵士へいしたちが、

並んで歩あるいて来ました。

みんな、とても静かです。



いちばんまえ うま の
一番前で馬に乗っているのは、
あの青年せいねんでした！

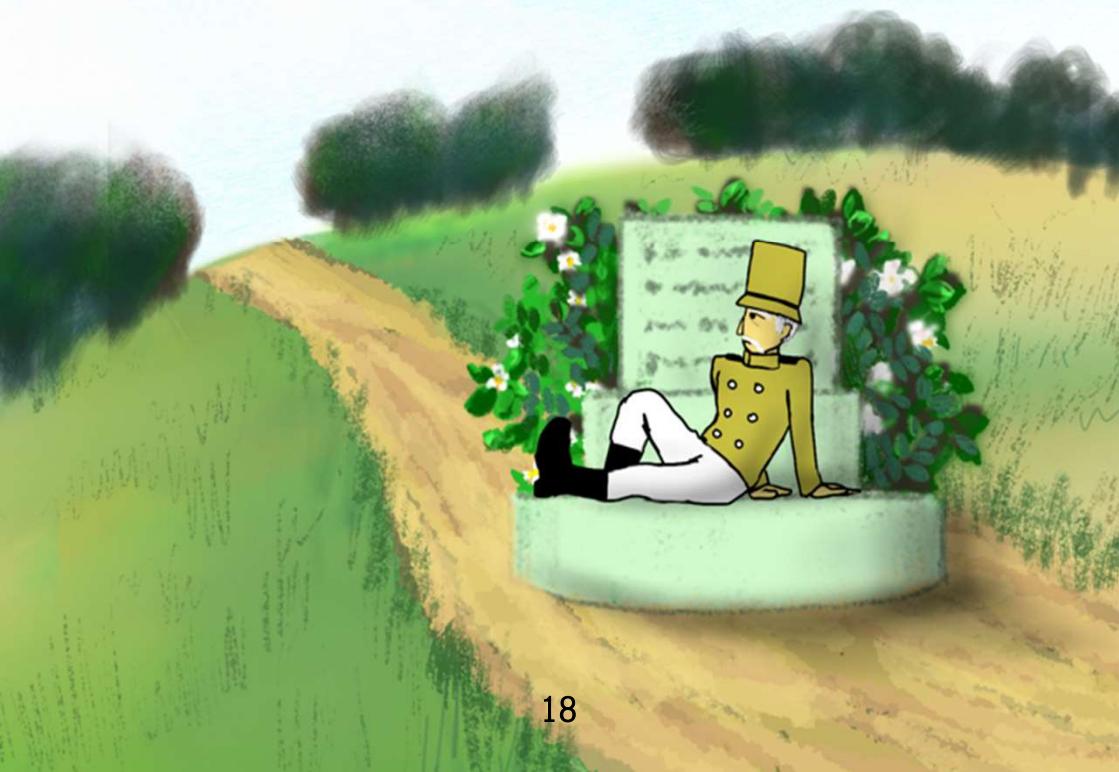


老人の前を通る時、青年は何も言わないで頭を下げました。
そして野ばらの匂いをかぎました。

老人が青年に何か言おうとした時、目が覚めました。



それは、^{ゆめ}夢だったのです。



それから いつ か月 ぐらいすると、
の 野ばらは 枯れてしましました。

その年の秋、老人は長い休みをもらって、
みなみ ほう かえ
南の方へ帰りました。



の
野 ば ら

はっこう び
発行日

ねん がつ にち
：2022年7月30日

げん さく
原 作

お がわ み めい
：小川 未明

かん やく え
簡 約・絵

いけ だ
：池田 あきつ

きょう りょく
協 力

た げん ご た どくしゅさい
：NPO多言語多読主催 -

ちゅうきゅうよう よ
「中級用読みもの作成講座」
さくせいこう ざ さん か しゃ
参加者

かん しゅう
監 修

た げん ご た どく
：NPO多言語多読



TADOKU
Supporters

NPO多言語多読
tadoku.org



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>